

秋厚労ニュース

NO1967号

2021年8月4日

秋田県厚生連労働組合

秋田市山王5-4-2

TEL 018(864)3341

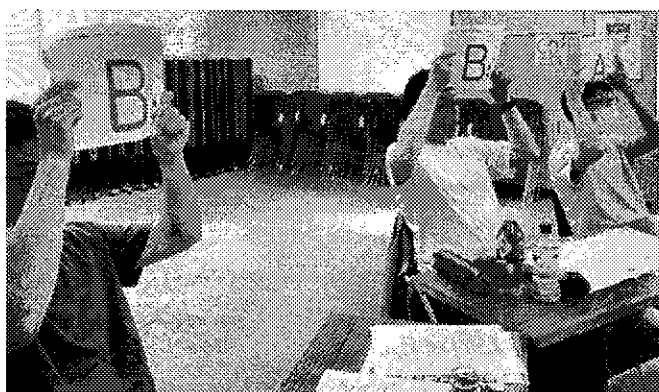
FAX 018(864)3349



全国と交流面白い

K'sオンライン 学習会

7月31日、全厚労K'sオンライン学習会が開催され、秋厚労4人を含む78人が参加。動画「組合ある時ない時」では全厚労青年委員の熱演が光り、県をまたいだグループ対抗クイズなどで交流を深めました。



↑ご当地クイズに、手元のカードを掲げて回答

最低賃金生活の体験報告 1食の予算二百円

学習講演は「最低賃金生活の体験報告」。大阪医労連の端圭二郎さんが最低賃金の時給962円で1ヶ月生活し、「健康で文化的な最低限度の生活に足りているか？」を確かめた体験について話しました。

月収約16万円から、社会保険料や税金、家賃を引いて9万円。水道光熱費、スマホ代、奨学金を支払い、趣味のケーキづくりを計算に入れると「1食の予算は200円」。「一番節約しやすいののは食費なので、1日2食や1食に減らす人も。メニューがほぼ固定され、栄養が偏り、体調を崩す」と指

摘しました。

貯金できない

端さんは、最低賃金生活について「貯金ができず、冠婚葬祭など急な出費に対応できない。急病やケガ、働けなくなったらという将来不安に対応できな

最低賃金上げれば 他の人の給与も上がる

働く人が生活し続けるために、短期的には「生活費を得て、休養を取って働ける」ことが必要。長期的には「学費や子育て資金、老後資金、保険の費用」が必要で

しかしOECD諸国に比べ、日本の実質賃金は下がりが続いています。「日本は給与が上がらな

い」とし、「最低賃金で生活し続けることは難しい。でも、実際にその賃金で生活している人がいる。他人事ではなく、自分事として考えたい」と述べました。

いの物価が上がっている」「最低賃金が上がれば他の人たちの給与も上がる」と説明し、「ぜひ、体験企画をしてみて。現在も最低賃金で生計を立てている人がいることは気にとめておいて」と呼びかけました。

グループ対抗クイズ

画面越しに一体感

講演の後は、パワーポイントや動画を用いた各県青年部の活動紹介、ご当地クイズ大会、グループ対抗クイズと続きます。

グループ対抗クイズは、参加者が、県をまたいだ数グループに分かれます。秋

田県は岐阜県・広島県の人と一緒にグループ。最終問題では難問に頭をひねり、あわや時間切れという時、広島県の参加者が答えを出してくれて、何とか乗り切れました。画面越しに一体感を感じました。

参加した人の感想



- ☆ 初web企画で、どうなるか心配だったが、全国の人と楽しく交流できて良かった
- ☆ 他の県の人との交流が楽しかった
- ☆ K'sへの参加は2回目。面白かった。意外とオンラインでも交流できるんだなと思った



↑参加した全員で記念写真「ピース」